

第166号

発行 安住寺（年4回発行）
 臨濟宗南禪寺派
 大分県杵築市大字南杵築379
 〒873-0002 Tel.0978-62-2680
 URL <http://www/anjyuuji.net>
 編集 矢野明玄 2・3頁
 矢野玄徳 1・4頁

安住寺だより



禅の心



天皇ご在位三十年

国民に寄り添う思い

いよいよ、ひと月余りで新元号が決まります。天皇が存命中に退位されるのも稀なことで、もちろん象徴天皇としては初のことであります。先頃、天皇在位三十年を祝う記念の行事がありました。国民の代表とも会われる茶会も催されました。宮中三殿にも報告参拝され、肅々と新天皇への譲位が進められています。次は、どんな元号になるのか国民の関心も高まっているようです。天皇陛下は、二月の式典で在位三十

煮縁供養 説教会

22日 午後一時 卒塔婆供養
 (月) 午後二時頃 説教
 23日 午前十一時 合掌会総会
 (火) 午後一時 卒塔婆供養
 午後二時頃 説教
 4月 午後三時半 総供養施餓鬼

布教師 福岡市 本岳寺住職
 松本浩舜 師

卒塔婆供養料、一本五百円です。出るだけ事前の申込をお願いします。

年を振り返り、感慨深いお言葉述べられました。毎年、戦没者を追悼しながら、この三十年間は、戦争を経験しなかったことを、先ず安堵されました。しかし、度々の地震や豪雨災害など、こと多く困難な時代でもあった。とも、述べられました。



4月13日・新宿御苑にて開催の、安倍総理主催「桜を見る会」に閑栖にも招待状が届きました。

ひとたび災害が発生すれば、可能な限り早く現地に足を運び、跪いて被災者を励まされました。そのお姿に多くの国民が感動したことでしよう。各地の被災地では「大変な災難に遭遇しながらも、耐え抜いた人々と、我がことのように

寄り添う国民に対しても、在任中の忘れ難いこと」と述べられています。そして、ご自身が日本国の統合の象徴として、無事に務められたのは「長い年月に、日本人がつくり上げてきたこの国の持つ民度のおかげでした。」とも申されました。

陛下は、この式典で原稿を読み違えるハプニングがありました。直ぐに気がつかれた皇后さまがサポートされました。常に陛下に寄り添い支えて来られた日々が垣間見られた瞬間でした。このような天皇・皇后両陛下のお姿が国民に伝わり、民度を形成していると思います。

ともどもに平らげき代を築かむと 諸人のことば 国うちに充つ

平成が始まって間もない頃に、皇后さまが詠まれた一句をお言葉の中で紹介されました。さりげなく皇后さまへの感謝を表している。と、ある評論家が言いました。皇后さまだけでなく、国内外の多くの方々へも、感謝を込められたお言葉でした。

【閑栖記】

「逃れられない変化」

健康や若さは、常ではない。こんなことは誰でも知っている。

私も、二月に用心をしていたにもかかわらず、インフルエンザを患ってしまった。その熱が冷めやらぬ中、突然堪えられない腹痛で、二日近く眠ることもできずうなされた。これはおかしいと改めて病院に駆け込むと、急性虫垂炎で即入院となった。

今回は抗生剤で、いわゆる薬で散らす治療でしたが、インフルエンザを含め十日ほど寝たきりでした。

このところ有名人の病気の告白闘病のニュースが続いています。

中でも驚いたのが、水泳日本女子の池江璃花子選手の白血病の告白です。

彼女は合宿先のオーストラリアで体調不良を訴え、緊急帰国。検査の結果、白血病と診断された。

近年リオデジャネイロオリンピックで五位入賞。昨年のジャカルタ・アジア大会では日本勢最多の金メダルを六個獲得し、MVPに選出される活躍ぶり。

これだけの戦績を見るだけでも類まれな才能と、努力があったであろうことは、競技スポーツを経験したものでなくとも想像に余る。2020年の東京オリンピックでは活躍が期待されていた。



池江選手公式ツイッターより

白血病の公表後「・・・治療に専念し、一日でも早く、また、さらに強くなった池江璃花子の姿を見せられるよう頑張っていくきたいと思えます。これからも温かく見守っていただけると嬉しいで

す。」と綴っている。

白血病を告白した池江璃花子選手に、あるキャスターが「本人の努力もあるんでしようけど、天が二物を与えたというくらいのもすごい天才ぶりだし」と前置きしつつ、「かわいらしさとすべてを持っていて思ったんですけど、武井さんのコメントじゃないですけど、神様がちょっと試練を与えたのかなと思います」と発言し波紋を呼んだ。

その発言に呼応したかは定かでないが、池江選手はツイッターでたくさんの方の励ましのメッセージに感謝と希望をあらわし「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています」と思いを記し、暗にキャスターに答えた形となった。

キャスター以外にも批判を買う大臣のコメントもあったが。

そんな中、池江選手のおばあちゃんは「水泳なんてやんなくていいから、とにかく長生きして、私より先に逝っちゃうなんて、いやだから、とにかく長生きしてほしいです。生きてさえいれば、私は・・・。」と回復を願った。

ただ思うのは、ひたむきに一身に水泳に取り組んできたように、今は治療に専念してほしいということだけである。

大きな怪我や病をした方には、痛みや苦しみのさなかで、日頃は考えないような不安を抱いた経験があるでしょう。

また自身は健康であっても、家族の病、老いや別れを経験します。

私たちは逃れられない変化の中で生きています。

仏教の根本理念「三法印」には諸行無常とあります。全てのものは、移り変わり定まったものではありません。もう一つ一切皆苦を足し

て「四法印」となりますが、生まれること、老いること、病むこと、死にゆくことの四苦に、愛する人との別れ「愛別離苦」嫌な人でも顔を合わせなければならぬ「怨憎会苦」求めても得られない「求不得苦」肉体や精神が盛んであるための「五蘊盛苦」この四つの苦を足して八苦です。生きていくことは、苦しいことばかりで諦めの気持ちを起こす方もあるでしょう。しかし仏教では「諦める」のではなく、「明らめる」のであり、移りゆく姿、逃れられない変化、乗り越えられない壁もあることを、明らかに見つめていくことが、大切なのです。

その逃れられない変化を受け入れながら、生きれることが尊いのでしょうか。

しかし、若い池江選手には何としても病を乗り越えてもらいたい。「生きてさえいれば」おばあさんの願いのよう。

あたたかい法事

施主の方がご挨拶の時に、故人の思い出話や、誰にも話されたことのない秘話などを話されることがある。お参りされた方も感心し、それをきっかけに亡き人の話に花が咲くことがある。

そんなご法事から帰ると、何となくホッとする。

一方、施主の方のご挨拶やお礼もそこそこ、静まり返ったお斎の場合もある。何となく居心地が悪いものである。

先日、多治見市虎溪山専門道場の師である、萬仞軒田中義峰老師の一周忌法要にお参りした。

お寺の和尚様の法事では、頂相(ちんそう)と言って、師の肖像画の書かれたお軸を掲げてお参りする。



頂相には故人の遺徳をしのぶ讃

が書かれてある。また、法要を締めくくると回向文では「品位を増崇(ぞうそう)せんことを」と、お唱えし遺功を改めて感謝する。かたちよりも、心や想いを大切にした、温かい法要こそありがたいですね。

ピカピカの！

この四月から、長男が中学一年生、次男三男は小学校一年生にそれぞれ入学し、新たなスタートを切ります。

沢山の方に日頃より気にかけていただき、心からお礼申し上げます。折々で親として学ぶこと、環境の変化など大変な中にも喜びを貰いながら、成長を見守っております。

次男三男も、長男長女に倣ってお寺のお手伝いをするようになるかと思いますが、これまでも同様にご指導いただきますようお願いいたします。



日々是好日

●一月三日年始会。総代様、地区お世話人様には、新年早々ご出席いただきありがとうございます。●一月十七日大般若祈祷会法要。今年は閑栖和尚が体調不良で出席できず、代わっての観音講。不慣れでご迷惑をおかけしました。また、二月五日千光寺(八坂)・三月三日龍雲寺(大分市白木)の大般若法要に出頭●二月十三日南禅寺派部内会●二月二十七日多治見虎溪山永保寺、田中義峰老師の一周忌法要。三月十三日八坂千光寺泰彦和尚様の三回忌法要にお参り。●三月一日総代会。来年度予算や今後の日程について話し合いを致しました。●三月十一日杵築市仏教会役員会。寺町正覚寺にて新年度予定など確認。●四月八日花まつり、本堂前に花御堂を出してお釈迦様の生誕をお祝いします。甘茶の接待もありますのでお出かけください。●今年の十月には、本山旅行を計画しております。春のお説教の際にご案内できればと思います。沢山の方にご参加いただければと思います。宜しくお願い致します。

しつけと虐待の差は？

千葉県野田市で信じられない事件が起きた。十歳の女兒を父親が虐待し、死亡させたのです。その後、母親も同罪で逮捕されました。一番可愛い盛りの女の子です。国民の誰もが耳を疑い、嘆き悲しみました。しかも、学校で「秘密を守るから正直に書きなさい」と書かせたアンケートの写しを、市の教育委員会が父親に渡してしまったと言うから、更に悲劇です。「先生何とかありませんか」と、明確にSOSの文字がつづられていたというから、何のためのアンケートだったのかと、いつまで経っても怒りが収まりません。

実は、昨年と同じような事件がありました。東京目黒区で起きた五歳の女兒が死亡した事件です。「もつとあしたはできるようにするから、もうおねがいゆるして」とたどどたどしいメモを残して、女の子は亡くなりました。どちらも直前に遠くへ転居

していません。児童相談所の対応が問題になりました。躰や励ましの意味で子供を叱ったり叩いたりすることは、往々にして有ると思います。

民法第八二二条には「親権を行う者は、第八二〇条の規定による監護及び教育に必要な範囲でその子を懲戒する事ができる」と規定されています。いわゆる親の、子に対する懲戒権です。昨今の、親の虐待によるところの死亡事件の発生によって、懲戒権の見直しが国会で議論されています。

どこまで許されるか 親の懲戒権

学校でも体罰が問題になり「指導」としての手出しが全て「体罰」と判断。逆に先生が暴力生徒に殴られる事案も発生しています。

親の懲戒権が無くなれば、子育てに悩む親が増え、各部屋に監視カメラを設置する家が増えるかも知れません。昔から「子は宝」と申します。悲劇が繰り返さないことを、日々祈るばかりです。【閑栖】

杵築点描



藤ノ川中尾の桜(昨年の花見)

お天気次第ですが、今年もお花見をする予定。4/1~4/4頃。お問合せ下さい。

新名所誕生 県道杵築大田線に新しい道路が完成しました。橋は石山ダムの湖上に架けられています。

◇行事予定◇

四月八日・降誕会(花祭り)
午後二時花祭り講演会(城下町会館)
四月十三日・早朝坐禅会
四月十七日・一時・観音講
四月十九日・写経写仏の会
四月二十二日・説教
四月二十三日・合掌会 総会
四月二十三日・説教会・総供養
四月二十九日・早朝坐禅会
五月十七日・一時・観音講
五月二十四日・総代会(決算)
五月二十四日・世話人会(決算報告)
坐禅会 基本・第二、四土曜日
坐禅会 四月より朝六時から
写経の会 五月21日 六月21日
独秀流御詠歌は休会中です
都合により変更する場合があります。

義援金のお知らせ

今年度の義援金
西日本豪雨災害義援金 100,000円
大阪府北部地震災害義援金 50,000円
 (内 お賽銭 91,447円)
 これまでの義援金総合計
1,536,188円
 (内 お賽銭 933,674円)

東日本大震災義援金 合計1,043,708円
 熊本大地震義援金 合計142,480円
 北部九州豪雨義援金 合計100,000円
 本年もお賽銭は、義援金に充てる予定です。